

明治維新  
150周年記念  
特別展

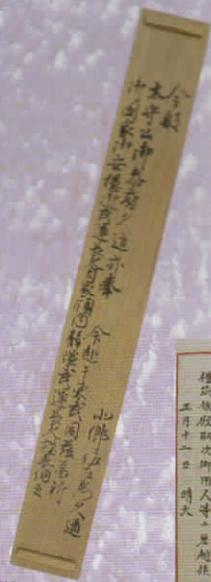
# 北郷久信と明治維新

幕末・明治の薩摩川内

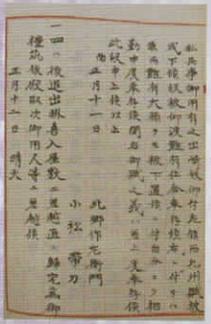
島津氏の庶流である北郷久信は、平佐北郷家の13代当主で、若い頃より、小松帯刀や西郷隆盛などとも交流があったとされ、水雷術伝習のため小松と一緒に長崎への出張も命じられています。そして、薩摩藩所有の軍艦乾行丸の艦長として北越戊辰戦争にのぞみます。久信の領地があつた幕末の薩摩川内は、久見崎（薩摩川内市久見崎町）の船大工が薩摩藩の洋式船建造に関わるなど、薩摩の明治維新に欠かせない地でありました。展示では、北郷久信の事績を中心に、明治期の資料から分かる久信の人物像や、久見崎船大工の二ノ方良右衛門の資料等から、幕末・明治の薩摩川内との関わりも併せて紹介します。



小松帯刀  
(国会国会図書館デジタルコレクションより)



奉納箱(蓋)  
(兼喜神社関係資料 / 川内歴史資料館蔵)  
北郷久信の江戸出府についての裏書



小松帯刀日記  
(鹿児島県立図書館蔵)  
北郷久信との長崎出張



北郷久信報効事歴並歴代系譜  
(都城島津邸蔵)



乾行丸  
(『薩摩海軍史』より)  
北郷久信が艦長となる



昇平丸御軍艦 ※パネル展示  
(松平文庫蔵、福井県立図書館保管)  
二ノ方良右衛門等久見崎の船大工が建造に携わる



討幕の密勅 ※複製展示  
(鹿児島県歴史資料センター黎明館蔵)



長崎海軍伝習所講義録【二ノ方良右衛門関係史料】  
(川内歴史資料館蔵)



明治元年越後大合戦略図 ※パネル展示  
(長岡市立中央図書館蔵)  
戊辰戦争：越後長岡・寺泊沖での攻防  
乾行丸と長州の軍艦が幕府の船を沈める様子(図左下)



長崎丸船板(大蔵院蔵)  
二ノ方良右衛門も乗船していた長崎丸の船板  
船は長州の砲撃で沈む、二ノ方も犠牲に

平佐とは？  
薩摩川内市を流れる川内川の左岸に位置します。中世の頃から商業が発達し、北郷家以前より島津氏の一族が治めているなど、重要な地域でした。

久見崎とは？  
川内川河口域に位置します。豊臣秀吉の朝鮮出兵や参勤交代などでも利用された港で、江戸時代、薩摩藩の船手(港を管理する役所)が置かれました。

Sendai Historical Museum

## 薩摩川内市 川内歴史資料館

〒895-0072  
鹿児島県薩摩川内市中郷二丁目2番6号  
TEL 0996-20-2344 <http://rekishi.satsumasendai.jp>

## 交通案内



【公共交通機関】  
JR 博多駅から九州新幹線を利用して JR 川内駅下車  
(約1時間10分)  
鹿児島空港からリムジンバスを利用して川内駅下車  
(約1時間10分)  
JR 川内駅から車で約7分  
(くるくるバスご利用の方は「歴史資料館前」下車)  
【駐車場】  
約40台(隣接する川内まごころ文学館と共通・無料)